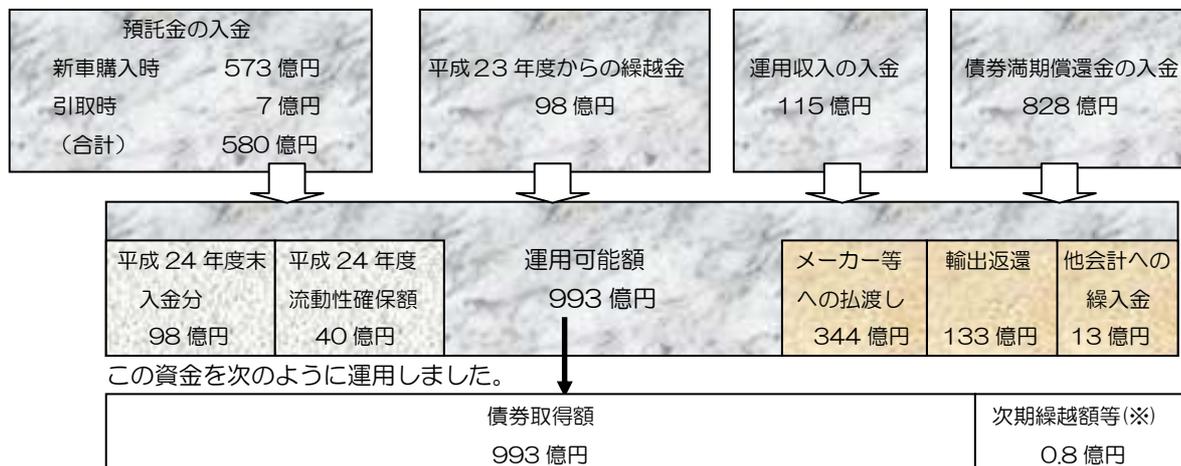


平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月） 再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第 52 回（平成 25 年 6 月 7 日開催）資料 5-1」をご参照ください。

- 平成 24 年度（平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月末まで）に資金管理法人の口座に入金となった預託金額は 580 億円でした。これに平成 23 年度からの繰越金 98 億円（平成 23 年度末入金 58 億円、流動性確保額等 40 億円）、運用収入 115 億円及び債券満期償還金 828 億円を加え、メーカー等へ払渡した金額 344 億円、輸出返還の金額 133 億円及び他会計へ繰入れ（資金管理法人並びに指定再資源化機関及び情報管理センターへの出えん等）した金額 13 億円と平成 24 年度末の入金分 98 億円及び平成 24 年度の流動性確保額の 40 億円を差引いた 993 億円が運用可能な金額でした。



(※) 次期繰越額等 0.8 億円。

次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。

支払経過利息とは、債券を購入するとき売り手に支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

(注) 合計が一致しないのは四捨五入のためです。

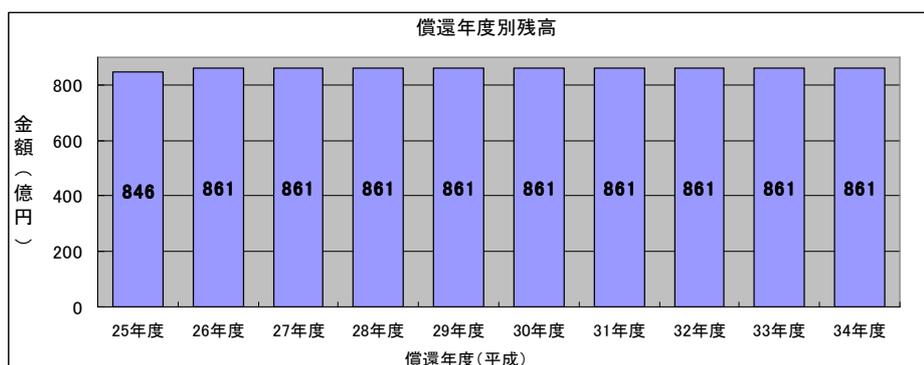
⇒平成 24 年度に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものとなりました。

実績最終利回り (A)	評価指標利回り (B)	(A) - (B)
0.70%	0.67%	0.03

※注 実績最終利回りは、平成 24 年度に取得した債券の加重平均利回りです。

- 平成 24 年度末（平成 25 年 3 月末）の保有債券の残高・平成 24 年度における新規取得債券（平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

⇒償還年度別の構成は、計画どおりにラダー型となりました。



⇒資金管理業務規程「再資源化預託金等の運用の基本方針」において、平成 25 年 1 月以降に新規取得する債券を国債及び政府保証債のみと変更したことにより、平成 24 年度における新規取得債券の種別構成比は、計画と実績で差異が生じました。

平成 24 年度新規取得債券種別構成比実績

債券種別	取得簿価 (億円)	構成比		
		実績(a)	計画(b)	(a)-(b)
国債	842	84.9%	82.0%	2.9
政府保証債	62	6.2%	6.0%	0.2
格付け制限あり債券	88	8.9%	12.0%	△ 3.1
計	993	100.0%	100.0%	